

令和7年度 教育部の運営方針

部	教育部	部長	桐藤 英樹
監	安田 典子		

【基本方針】

教育部では、これからの社会変化に主体的に対応できる「生きる力」を持った子どもの育成に向けて、効果的な学校教育と、安全で快適な教育環境の整備を推進します。

学校教育においては、幼小中一貫教育を推進し、校種間の接続を円滑にした取組をすすめ、家庭・地域・学校園の協働により「めざすこども像」の実現に努めてまいります。学力向上については、ICTの効果的な活用により、「誰一人取り残さない授業づくり」の実践に向けて、一人一台端末の更新を進めるとともに、新しい時代に求められる資質・能力を育成してまいります。教育支援の充実については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、いじめや不登校などの早期発見・早期対応が可能な相談体制を整えてまいります。教育環境の充実については、「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、これからの学校のあり方を考えるとともに、教職員が心身共にゆとりをもって子どもたちと向き合うことができる環境づくりに向けて、学校における働き方改革を推進してまいります。

学校施設の整備については、小学校体育館空調設備の全校への設置を目指すとともに、引き続き小中学校のトイレの洋式化を進めてまいります。

生涯学習においては、市民文化センターが新たな地域の賑わいを創出する施設へと生まれ変わるよう検討してまいります。また、生涯スポーツについては、幅広い世代が気軽にスポーツを楽しみ、日々のスポーツ活動の成果を発揮できるイベント等を開催することにより、スポーツ活動の充実及び振興を図ってまいります。さらに文化財につきましては、歴史資料館での展示や市ウェブサイトを通じてその魅力を積極的に発信することで、多くの人々が本市の歴史、文化に親しむ機会を提供してまいります。

【重点目標】

1	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和7年度 達成状況
	幼小中一貫教育の推進					A
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和7年度 達成状況
	学力・体力の向上					B
3	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和7年度 達成状況
	教育支援の充実					A
4	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	学校教育	令和7年度 達成状況
	快適な教育環境の整備					A
5	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	生涯学習	令和7年度 達成状況
	多様な学習機会の充実と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供					A
6	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	歴史・文化	令和7年度 達成状況
	文化財の保存、整備、活用					A

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
- B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
- E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	教育部
---	-----

重点目標 1	幼小中一貫教育の推進
--------	------------

今年度の達成目標
主体的にコミュニケーションを図ろうとする力の育成をめざし、中学校区で一貫性のある外国語（英語）教育の充実を目指します。
今年度の達成目標
乳幼児教育の質の維持・向上に向けた取組を積極的に進め、小学校や中学校につながる教育の充実を目指します。

達成状況	達成度
児童生徒の発達段階を考慮した連続性のある指導となるように、小中学校が連携し取り組むことができました。その結果、早い段階から英語に対する興味関心が高まりました。	A 達成
達成状況	達成度
架け橋期の取組を進めたことで、乳幼児教育の質の維持・向上と、小学校・中学校につながる教育の充実という目標を達成できました。	A 達成

具体的取組	
幼小中一貫教育推進教員やA L Tを各中学校区に配置し、学校間での実践例の交流や研修を推進します。	
所管室・課	指導課
具体的取組	
架け橋期の教育の円滑な接続をめざし、年間を通して子ども同士や保育者・教員が相互理解を深めることができるよう、交流の場を設けます。	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績	
幼小中一貫教育推進教員を各中学校区に配置しました。専門性を生かして小学校における外国語の指導を担うことにより、小中の連携が進み、子どもたちは校種間の段差を乗り越えやすくなっています。	
具体的な取組実績	
架け橋期において、幼稚園・保育所・こども園と小学校との連携を強化し、教育内容や指導方法の相互理解を深める取組を実施しました。合同研修や情報共有を通じて、子どもの育ちや学びの連続性を意識した教育実践が進み、就学前後の不安軽減や円滑な学校生活への移行につながりました。	

総合評価・総括
小中連携会議においては、学力の向上、生活指導上の課題等について協議することで、中学校区における特色ある教育の推進につながりました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
各校区の一貫教育がより効果的なものにブラッシュアップされるよう、取り組んでまいります。

部	教育部
---	-----

重点目標 2	学力・体力の向上
---------------	-----------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
ICTを活用した授業改善に取り組み、学力の向上を図ります。	達成目標の成果指標としていた、全国学力・学習状況調査における対全国比（全国の平均正答率を1とする）において、小学校は1.02となり、昨年より上昇しました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
体育の授業や部活動の充実により体力の向上を図ります。	達成目標の成果指標としていた、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における対全国比（全国平均を50としたときの値）は、小学生は下回りましたが、中学生（2年生男女）は全国を上回りました。	B 概ね達成

具体的取組	具体的な取組実績		
「第4期かしわらっ子はぐくみプラン（柏原市学力向上計画）」を柱に学力向上担当者とICT教育推進担当者の推進委員会を一体的に実施し、授業改善を意識したICT活用を進めます。ICT支援員を全校に配置し、ICTを効果的に活用できる授業の推進を進めます。	学力向上担当者とICT教育推進担当者による推進体制を一体的に運用し、ICTを活用した授業改善を推進しました。あわせて、ICT支援員を全校に配置することで、ICTを効果的に活用した授業実践が進み、生徒のICT活用状況がこれまでと比較し、向上しました。		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">所管室・課</td> <td>指導課</td> </tr> </table>	所管室・課	指導課	
所管室・課	指導課		
具体的取組	具体的な取組実績		
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、体育の授業や休み時間、放課後の時間を活用した体力づくりの取組を進めます。部活動補助指導員を増員し、各中学校に配置します。	<ul style="list-style-type: none"> 全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果分析を市のホームページ上に掲載することにより、学校だけでなく広く市民に向けて体力の状況を周知しました。 専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を部活動補助指導員として各中学校に配置することにより、専門の競技とは異なる部を顧問する教員を支援し、生徒への指導を充実させました。 		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">所管室・課</td> <td>指導課</td> </tr> </table>	所管室・課	指導課	
所管室・課	指導課		

総合評価・総括	全体の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業改善や学力向上に向けた取組については、「思考力・判断力・表現力」の育成をテーマに、学力向上推進委員会を中心に進めてきました。その取組の成果を生かし、各学校でも取組を進めていく必要があります。 体力については、全国と比べ中学生の週の運動総時間数（420分以上）が多いことがわかりました。 	B 概ね達成

今後検討すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> 次期学習指導要領の趣旨を踏まえ、言語能力や情報活用能力等、未知の課題に主体的に対応できる資質・能力の育成を目指し、教員の授業力向上につながる研修を充実させ、ICTを効果的に活用した分かる授業づくりを推進します。 体力向上に向け、子どもたちが楽しんで自ら体を動かそうとする教育活動や取組を進めます。

部	教育部
---	-----

重点目標 3	教育支援の充実
--------	---------

今年度の達成目標
子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう学校の教育支援を充実させます。
今年度の達成目標
不登校児童・生徒への包括的な取組を行い、新規不登校者数の減少と不登校児童生徒の学びの継続をめざします。

達成状況	達成度
達成目標の成果指標としていた、生活アンケート「学校の中に相談できる大人はいますか」に「いる」と答えた全体の割合は、昨年度と同程度でしたが、小学3年生については、80%を超えました。	B 概ね達成
達成状況	達成度
全ての中学校区で、学期に1回欠席が長期化している児童生徒への支援方法を、専門家や関係機関を交えて検討し、必要に応じて市の重層的支援会議と連携し対応できました。	A 達成

具体的取組	
<p>スクールカウンセラーを全小学校及び教育研究所に配置します。 スクールソーシャルワーカーを全ての中学校区に配置し、活用を進めます。 日本語を母語としない外国籍児童生徒の支援を進めます。</p>	
所管室・課	指導課
具体的取組	
<p>教育支援センター内に、不登校支援相談員の役割を担った職員を配置し、学びの場を保障します。 不登校の未然防止のために、スクーリング等日頃から状況の把握に努め、各関係機関と連携します。</p>	
所管室・課	指導課

具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーを配置することにより、相談体制を整え、悩みや不安を抱えている児童・生徒及び保護者を支援しました。 ・スクールソーシャルワーカーを配置することにより、関係機関と連携して児童・生徒の様々な環境に働きかける支援を行いました。 ・両者がそれぞれの専門性を生かし、学校課題の解決・改善を図りました。 ・日本語指導員を増員し、巡回型の日本語指導を行い、日常生活に支障のないよう支援しました。 	
具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力や地元の大学との連携を生かし、学生等のボランティアを学校教育支援指導員として学校園に派遣しました。 ・支援教育コーディネーター研修会を開催し、障がいのある子ども一人ひとりの状況に応じた適切な指導、支援につなげました。 	

総合評価・総括
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの全小学校への配置により、心理面での不安の解消や、ニーズに応じた発達検査にスムーズにつなげることができました。今後も早期対応をより一層進めていきたいと考えています。 ・スクールソーシャルワーカーを全校配置したことに伴い、専門機関との連携が一層進みました。子どもを取り巻く環境の改善につなげることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
日本語を母語としない外国籍児童生徒の増加に伴い、さらなる支援を進めるため、日本語指導を始めとする教育環境の充実に努めます。

部	教育部
---	-----

重点目標 4	快適な教育環境の整備
---------------	-------------------

今年度の達成目標
柏原市小・中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、小中一貫教育の教育効果を高める取組の研究を進めます。
今年度の達成目標
快適な教育環境を整備する取組を進めます。

達成状況	達成度
児童生徒数の将来推計をおこなうとともに、適正規模・適正配置に係る取組について調査・研究を進めることができました。	A 達成
達成状況	達成度
令和7年度における設置工事については、予定通り完了し、教育環境の整備を進めることが出来ました。	A 達成

具体的取組	
<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度実施予定の柏原市小・中学校適正規模・適正配置審議会に向け、各小学校区において説明会を行い、地域の皆さまのご意見を伺います。 視察や情報収集をとおして学校の再編整備に係る研究に取り組みます。 	
所管室・課	学務課
具体的取組	
小学校体育館への空調設備の設置を実施するとともに、更なる学校トイレの洋式化を推進します。	
所管室・課	教育総務課

具体的な取組実績	
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒数の現状や今後の推移について、各小学校の青少年健全育成会において説明を行いました。説明資料についてはHPでも公表し、「子どもたちにとってのより良い教育環境とは」といった観点で、保護者・地域の皆さまのご意見を募集しました。 令和8年度実施予定の適正規模・適正配置審議会に向け、防災・福祉・財政など他部局との調整会議を3回開催しました。 	
具体的な取組実績	
小学校体育館への空調設備の設置については、4校の設置工事を行いました。トイレの洋式化については、小学校1校及び中学校1校の洋式化工事を行いました。	

総合評価・総括
児童生徒数の現状や今後の推移について、保護者・地域への周知に努め、広く意見を募集しました。また、他部局との調整会議を重ね、令和8年度の適正規模・適正配置審議会に向けた準備を進めることができました。また、安全で快適な教育環境の整備として、小学校体育館への空調設備の設置やトイレの洋式化を予定通りに行うことができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
柏原市立小・中学校の適正規模・適正配置につきましては、保護者・地域からいただいたご意見をふまえ、令和8年度の審議会にてさらに学校の再編整備に係る意見交換を行い、本市の将来の学校のあり方について検討していきます。教育環境の整備につきましては、本年度に実施した設置工事により、小中学校体育館への空調設備の設置を完了し、今後も快適な教育環境の整備に向けて、特別教室への空調設備の設置等の検討を進めてまいります。

部	教育部
---	-----

重点目標 5	多様な学習機会の充実と気軽に楽しめる生涯スポーツの提供
---------------	------------------------------------

今年度の達成目標
<p>新たな市民文化センターについて検討するとともに、その間も市民の生涯学習の機会を継続的に提供できるよう、学習の場の充実に努めます。また、図書館において、多様化する市民のニーズに対応し、多世代が学び、交流できる場を提供します。</p>

今年度の達成目標
<p>スポーツ教室等の充実を図るとともに、スポーツを見る機会も提供し、より多くの市民がスポーツに触れ合う場をつくることで、市民の体力向上及び健康増進を図ります。</p>

達成状況	達成度
<p>市民文化センター・リビエールホールの整備方針について市民説明会を開催し、市民の意見を聴取しました。市民文化センターの休館中の対応については概ね利用者の希望通り代替施設を利用いただきました。</p>	<p style="font-size: 2em;">B</p> <p>概ね達成</p>

達成状況	達成度
<p>新たな試みとして民間企業との協働により、所属プロによるスポーツ教室（バレーボール・バドミントン）を実施しました。また、今年度も市民応援デー（スポーツ観戦）を実施し、スポーツを見る機会も提供したことにより、市民の体力向上及び健康増進を図ることができました。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

具体的取組
<p>公民館では、1年を通して多様な講座を開催するとともに、図書館においてはイベント等を通じて市民が本に親しみ、交流の場を提供します。</p>

所管室・課	公民館
具体的取組	
<p>スポーツフェスティバルin柏原、柏原シティキャンパスマラソン、各種スポーツ教室等の事業を通じて、市民がスポーツを楽しめる機会を提供することにより、スポーツ活動の充実を進めます。</p>	
所管室・課	スポーツ推進課

具体的な取組実績
<p>公民館講座については文化連盟委託講座を9講座、教養・基礎講座を16講座実施し、218名が受講しました。</p>

具体的な取組実績
<p>柏原市内各体育施設（10施設）において、年間252,860人の方々に利用をいただきました。また、スポーツフェスティバルin柏原、柏原シティキャンパスマラソンを開催し、多くの方々にスポーツを楽しんでいただくことができました。これらのことから、スポーツ活動の充実を進めることができました。</p>

総合評価・総括
<p>公民館では市民の多様なニーズやライフスタイルに合わせて土日や夜間などにも様々な公民館講座を開催し、生涯学習の場を提供することができました。</p> <p>生涯スポーツの提供については、新たなスポーツ教室も含めて、市民応援デーの実施及び各スポーツイベントの開催などにより、市民がスポーツに触れる機会を提供できたことから、生涯スポーツの推進を図ることができました。</p>

全体の達成度
<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

今後検討すべきこと
<p>新たな文化芸術複合施設（図書館・公民館・ホール）の在り方については、今後も市民意見を聴取する機会を設け、検討を重ねながら、整備へ向けて準備を進めます。文化センター休館中の代替施設については利用者が快適に利用できるよう、施設の整備を行う必要があります。スポーツの推進につきましては、既存事業はもとより新たな事業の展開などにより、市民がスポーツを楽しめる環境づくりを図っていく必要があります。</p>

部	教育部
---	-----

重点目標 6	文化財の保存、整備、活用
--------	--------------

今年度の達成目標
史跡をはじめとする文化財の適切な維持管理及び調査・研究に努めます。
今年度の達成目標
文化財を公開・活用し、地域の歴史や文化に親しむ機会を提供します。

達成状況	達成度
市民に地域をより深く理解してもらうため、文化財の適切な維持管理業務や調査研究を実施しました。	A 達成
達成状況	達成度
企画展や講演会、講座、体験教室等の開催、史跡高井田横穴の公開を通じ、市民が地域の歴史・生活文化を知る機会を提供しました。	A 達成

具体的取組	
文化財周辺の定期的な草刈り・樹木の剪定等の環境整備を行うほか、伝統的な建造物等の詳細な調査を実施します。	
所管室・課	文化財課
具体的取組	
歴史資料館において、定期的な企画展や講演会等を開催するほか、史跡高井田横穴の特別公開を実施します。	
所管室・課	文化財課

具体的な取組実績	
史跡鳥坂寺跡の防草シートの維持管理をはじめ、文化財周辺の草刈りや樹木の剪定等を実施し、環境整備に努めました。また歴史的建造物である阪田家住宅について写真撮影や実測等の詳細な調査を行いました。	
具体的な取組実績	
企画展を年4回開催するとともに、これらに関連する講演会を8回、市民歴史大学を4回、各種講座や体験教室を61回実施しました。また、史跡高井田横穴を特別公開しました。	

総合評価・総括
市内のみならず、多くの方が歴史資料館及び史跡に足を運んでいただけるよう、企画展や講演会、講座、体験教室を開催するとともに、ビジュアルヒストリーガイド等のオンラインによる情報発信、さらに文化財の調査や保護、史跡の環境整備に努めました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
史跡周辺の草刈りや樹木の剪定等の環境整備を継続的に進めます。また、多世代の方々が安全かつ安心して歴史資料館を利用していただくため、設備面の充実と併せ、老朽化対策も必要であると考えます。